

IPv6 によるインターネットの利用高度化に関する研究会 第四次報告書

～IoT 時代を拓くインターネット新戦略(仮)～

骨子(案)

はじめに

第 1 章 IoT 時代の幕開けと IPv6 の利用 ～モノのグローバルな流通と IoT の本格始動～

1. IoT の本格始動

- ・モノとモノをつなぐ新たなデバイスの出現
- ・IoT を支えるインターネットの新たな潮流
- ・IoT で実現する新たな経済社会の姿

2. IoT 社会の実現と IPv6 の役割

- ・IoT の実現に向けた取組
- ・2020 年に向けた我が国の施策動向
- ・IoT 社会の実現において IPv6 の果たす役割

第 2 章 IPv6 対応の現状と課題 ～転換期を迎えた IPv6 対応と我が国への警笛～

1. IPv4 アドレスの枯渇の現状

- ・国内外の枯渇状況
- ・IPv4 再利用の実態と問題点

2. 諸外国の IPv6 対応とグローバル展開

- ・諸外国の IPv6 対応の状況
- ・ハイパージャイアントの新たな展開

3. 我が国の IPv6 対応状況

- ・我が国の IPv6 対応の概要
- ・第三次報告書の課題への対応状況
- ・IPv6 対応の主体別状況と課題

第 3 章 IoT 社会の実現に向けた新戦略 ～IPv6 でつながる世界のフロントランナーに向けて～

1. IoT 社会実現のための IPv6 推進の基本的な考え方

- ・新たな付加価値創出と新産業の創出
- ・社会課題解決に向けた取組の強化
- ・国際経済社会をリードする我が国の役割

2. IPv6 対応の新たな展開と方向性 ～今後のアクションプラン

- ・2020 年に向けた明確な目標策定
- ・事業等分野ごとのアクションプラン
- ・分野横断的に実施すべき取組

おわりに